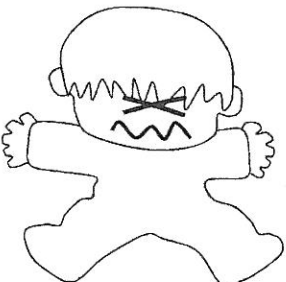


環境に敏感な人たちが感じている
『農薬との関係が疑われるエピソード』
アンケート調査

あなたの家族に起こった、農薬による体調への影響が疑われるエピソードを集めています。(下図のような症状が代表的な症状です。) ご自身やご家族でそのような経験がある、または疑わしいと思われる体験をお持ちの方は、この調査へのご協力をお願いいたします。

ネオニコチノイド系殺虫剤の慢性曝露で起こる症状		
副交感神経刺激症状	交感神経刺激症状	中枢神経症状
暗くて見えにくい(縮瞳) ピントが合わない	頻脈・どうき 発汗	高度な理解力の低下 記憶力低下 注意力低下 多動
起立性調節障害 立ちくらみ 車酔い よだれが多い 鼻水がとまらない 涙がとまらない 痰が多い 気管支喘息の悪化 かゆみが止まらない	手足の指先のしびれ 指先が冷たい 便秘	頭痛 めまい 平衡機能障害 片足立ちができない
腹痛 吐き気・嘔吐 下痢		その他の症状 疲れやすい 力が入らない 筋肉がびくびくする 指が震える 反射の亢進・減弱 筋肉萎縮
Dr.角田作成		

思い当たる経験のない方は、ご返送の必要はありません。

アンケート回収 一次締切 2012年12月20日
二次締切 2013年 2月20日

調査団体：子どものアレルギーから食と環境を考える NPOみれっと

症状のあった方の情報 (ご家族が、様々な症状を経験している方は、お一人各1枚コピーしてご記入下さい) ①

性別	年齢	既往症がありますか?	記入者との関係
男・女		アレルギー疾患・化学物質過敏・その他 ()	本人・

◎飲食物から摂取した農薬が関係すると思われる経験をうかがいます。ある場合は記入・ない場合は次へ健康被害があったと思われる、食品名と摂取した量はなるべく具体的にご記入下さい

1、水・お茶・飲料を摂取しての体調変化の事例 ある・ない

いつ	どこで	何をどれくらい口にして	症状	対処

2、果物・フルーツジュースを摂取しての体調変化の事例 ある・ない

いつ	どこで	何をどれくらい口にして	症状	対処

3、野菜・野菜ジュースを摂取しての体調変化の事例 ある・ない

いつ	どこで	何をどれくらい口にして	症状	対処

4、コメ・麦・雑穀などの穀類を摂取しての体調変化の事例 ある・ない

いつ	どこで	何をどれくらい口にして	症状	対処

5、その他の飲食物を摂取しての体調変化の事例 ある・ない

いつ	どこで	何をどれくらい口にして	症状	対処

右ページにすすんで下さい。書ききれない場合は③面の自由記述欄にご記入下さい。

症状のあった方の住まいと周辺環境情報 (ご家族で様々な症状を経験した方はお一人各1枚ご記入下さい) ②

地域	住宅	築年数	近隣にあるもの (○をつける)
都市部・住宅地・田園地帯・山間部 (県 市)	ビル・戸建て ()	年	水田・畑・果樹園・公園・ゴルフ場・森林・ その他 ()

◎身の回りの環境から農薬のぼくろが関係すると思われる経験をうかがいます。ある場合は記入・ない場合は次へ
健康被害があったと思われる、農薬へのぼくろの状況の詳細と、薬剤名がわかる場合はなるべく固有名詞でご記入下さい

6、家庭で使用する農薬による体調変化の事例 ある・ない

[家庭菜園やガーデニング用殺虫剤・ゴキブリ駆除剤・ペット用ダニ・ノミ駆除剤・アリやコバエ駆除剤・燻煙式殺虫剤など]

いつ	どこで	どのように	症状	対処

7、住宅で使用される農薬による体調変化の事例 ある・ない

[土壌処理剤・白アリ駆除剤・塗料や接着剤の防虫処理剤・断熱材や合板の防虫処理剤・壁紙や畳の防虫処理剤など]

いつ	どこで	どのように	症状	対処

8、施設(学校・公共施設・商業施設)で使用される農薬による体調変化の事例 ある・ない

[施設内での燻煙式殺虫剤の使用・スプレー式殺虫剤・植え込みや植栽への殺虫剤の散布・リフォームに伴う建材の防虫剤など]

いつ	どこで	どのように	症状	対処

9、住まいの近隣で使用された農薬による体調変化の事例 ある・ない

[畑や水田への農薬散布・ゴルフ場の農薬散布・山林への殺虫剤の散布・果樹園での殺虫剤散布・公園の農薬散布など]

いつ	どこで	どのように	症状	対処

10、その他の農薬によると思われる体調変化の事例 ある・ない

[6～9以外の農薬へのぼくろ 農業工場勤務・農薬散布に従事・農家での使用など]

いつ	どこで	どのように	症状	対処

自由記述欄

ご連絡先

ご協力ありがとうございました。

個人情報、この調査のためだけに使用します。
健康被害が出ている場合、さらに詳細をうかがうため、
こちらから連絡させていただくことがあります。
よろしければ、任意で連絡先をご記入下さい。

ファクスは①②+③（記入がある場合）面をご送信下さい。
郵送の場合は、申し訳ございませんが切手代をご負担下さい。

調査団体；子どものアレルギーから食と環境を考える
NPOみれっと

アクト・ビヨンド・トラスト 2012年度
「ネオニコチノイド系農業に関する企画」助成事業
『ネオニコチノイドはミツバチだけの問題じゃない』

環境に敏感な人たちが感じている
『農薬との関係が疑われるエピソード』
のアンケート調査にご協力下さい

ネオニコチノイド系農薬は、1990年代から日本で使用が始まった農薬です。昆虫の中樞神経系に作用して効果を出すため、神経系の基本構造が同じヒトへの神経毒性が心配されています。浸透性の農薬であるため洗っても落とすことができません。

ネオニコチノイド系農薬はミツバチの大量死との関連が疑われています。空中散布によるヒトへの健康被害も出ています。しかし、農薬の使用による被害がすでに出ていたとしても気がついていないか、別の病気として治療を受けていることも考えられます。

この調査は、アレルギーなど環境に敏感な人たちが、すでにこの農薬の被害を経験しているのではないかという仮説の元に、多くのエピソードを集めたいと考えています。皆さんの身体に起きている変化を調査して、ヒトへの影響を探るためのものです。

農地以外では農薬による被害情報は様々な担当部署に寄せられ対応されているため、全体像が見えにくく、皆さんが日常「農薬が関係しているのではないか」と思われるような症状を経験した場合、それをどこに伝えればよいのか迷うことがありませんでしたか。もしも、そのような経験がありましたら、この機会に詳しく教えて下さい。

子どものアレルギーから食と環境を考える NPOみれっと 代表理事 久間佳代子

お問い合わせ NPO みれっと事務局 電話 048-642-0553 メール npomillet@gmail.com

郵送用、宛て名ラベル

330-0834

埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-302-2

NPOみれっと事務局 行
(ネオニコチノイド・アンケート)

ファクスの場合 (A4で各頁を送信して下さい)

ファクス専用番号

048-642-0608